

若者支援イベント

「“自分らしく”ってなんですか？～生きづらさを“生きてる実感”に変える～」

背景・イベント開催目的

新宿区では、毎年約 60～100 名が自殺により亡くなり、特に自殺死亡率（人口 10 万人当たりの自殺者数）は、全国と比較して、20～30 歳代が高い傾向である。そこで、今年度の自殺総合対策重点項目「若年層への自殺対策」に基づき、区民への関係団体の周知及び区と若者支援団体の連携強化を目的として本イベントを開催した。

※本イベントは、企画・運営業務を NPO 法人ライフリンクに委託。

会場・開催日時

牛込笹塚区民ホール 平成 26 年 2 月 1 日（土）13 時 00 分～16 時 30 分

参加人数

250 名

内容

- 1、和太鼓ユニット「音阿弥」による和太鼓ライブ
- 2、芥川賞作家・平野啓一郎氏基調講演「“私”を追い詰めない生き方～個人から分人へ」
- 3、若者支援団体による来場者参加型ディスカッション「生きづらさへの処方箋」

【登壇団体】 ワーカーズコープ／YouthLINK／LightRing．／Re:BIT

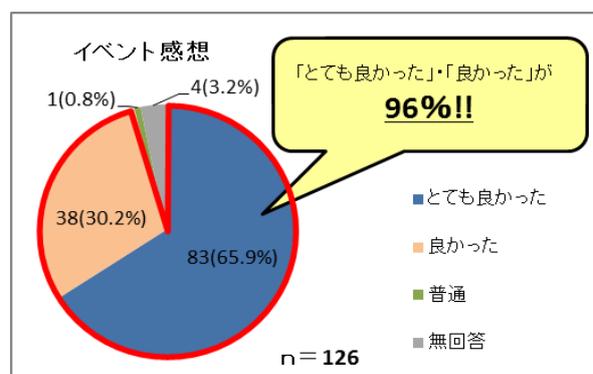
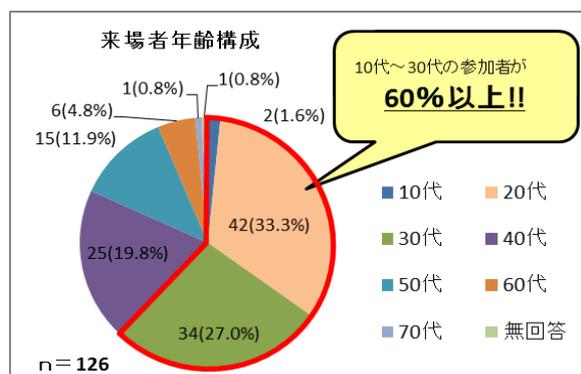
- 4、ミュージシャン「ワカバ」によるミニライブ

※ホール外に、新宿区、勤労者・仕事支援センター共同で普及啓発ブースを設置。

周知方法

- ・ 広報しんじゅく（1 月 15 日号）にて周知、区公式 Facebook・Twitter にて情報発信
- ・ 周知チラシ（20,000 枚）・ポスター（400 枚）を庁内、区内大学、飲食店等で配付
- ・ NPO 法人ワーカーズコープ主催子ども・若者フォーラムにて来場者にチラシ配付
- ・ イベント関係者、出演者の Facebook・Twitter にて情報発信

アンケート意見（一部抜粋）



上記はアンケート回答者（126 名）のみの数値。

アンケート意見（一部抜粋）前頁続き

【本イベントの感想をお聞かせ下さい】

- ・無料でこのクオリティはすごい!!
- ・プログラムが充実していて良かった。
- ・本当につらい人は支援活動があることすら考え及ばないので、そういった人が一人きりにならないようセーフティネットを生活に組み込む必要があると思う。

【第1部：平野啓一郎さんの講演の感想等をお聞かせ下さい】

- ・平野さんの分人主義を中学生に講演してほしい。(2)
- ・自分が誇れる分人を探す作業をじっくりしたい。
※分人とは、平野氏が提唱する「状況や相手により異なる自分を演じることで生きる選択肢を増やす」考え方。

【第2部：ディスカッションの感想等をお聞かせ下さい】

- ・登壇した支援団体を知れて前より生きづらくなかった。
- ・若者による若者のための取組みがここまで進行している新宿はすごい！
- ・(登壇した)若者同士のクロストークがあったらもっと良かった。

若者支援イベント実施風景



総合司会はライフリンク清水代表・矢澤参事



芥川賞作家・平野啓一郎さんによる講演



若者支援団体によるディスカッション



啓発ブースは大盛況！！

実施結果・考察

- ・本イベントは、自殺対策を専門的に推進する NPO 法人ライフリンクに企画・運営を委託したことにより、対象とした若年層に的確に情報が届くとともに、感想の内容から生きづらさを感じている人等の参加も見られ、イベント実施の目的を達したと考えられる。参加者数は、目標の 200 名を超える **250 名**と幅広い普及啓発ができた。
- ・会場アンケートでは、「自殺対策に対する理解関心は深まったか」という問いに、少しでも深まった人は 90%を超えた。
- ・ホール外の普及啓発ブースでは、多くの方が区作成物や関係機関資料を手に取り、ブース従事者へ質問等を行っていた。

以上のことから、本イベントは、開催目的であった支援団体の周知ならびに区と支援団体の連携強化で一定以上の効果を得られたものであったと考える。